

# 在寮者確認がいかに応じてマルカ?

①我々が寮生であることは全学で確認されているのに在寮者「確認」文書がくる??

— 現在、吉田寮態度は入退寮者の氏名を、京大新聞紙上で全学に明らかにしている。これは過去、寮自治会や学生部と話し合いを行い決定したことであり、これまで学生部はこれによって在寮者の氏名を確認し、寮予算を出してきました。

ところが、'80年'81年に継ぎ今年も「在寮者の氏名を確認できない」という理由で、その「確認できない」はずの寮生一人一人、そして各々の親元にまで在寮者「確認」文書、すなわち、在寮の事実を届け出て在寮していることを学生部長に「認めてもらう」文書を強要してたのである。

②在寮者「確認」文書には全く根拠がない!

— 学生部はこの在寮者「確認」文書を出す理由として、①現在のようない入退寮者の氏名発表では、寮生と「確認」できない(?)  
②個人宛の在寮者「確認」(=入寮届)でなければ債券発行もできず、予算を下すことができない、と主張している。

学生部が京大新聞紙上で寮生氏名を確認した上で、その寮生一人一人に確實に文書を送ってくることを見ても①の理由に根拠の無いことは明らかである。また、現在女子寮、室町寮においては在寮者「確認」(=入寮届)を提出しなくとも債券発行がで

き、寮予算を下ろすこともできる状態であることを考えるなら②についても根拠の無いことか分かる。

では在寮者「確認」とは一体何なのか?

③在寮者「確認」は寮生分断攻撃、そして入退寮権剥奪攻撃だ!

— 現在、吉田寮は自主管理を行っておりそれは大学当局などの恣意を排除した形の自主入寮選考を根幹としている。そして我々は自主管理を通じて厚生施設としての寮を堅守し、様々な形でそれを背かす廃寮化攻撃に対し、団結して斗いぬいてきた。

これに対して学生部長の「認めろ」寮生と「認めない」寮生(=不法入退生)をつくりだすことによって寮自治会の团结を切り崩し、廃寮化(=新々寮化)をいっそう進めようとするのがこの在寮者「確認」の一意図である。

オニに、これを学生部長あてに出さることによって寮生一人一人と学生部との間に契約関係をつくり出すことをねらっていっている。すなわち、在寮者「確認」文書を出すことによって「寮生と認めてもらう」という体制を固めることで、自主選考権=入退寮権を剥奪していくこうとしているのだ。入退寮権の剥奪された筑波型新々寮においては当局の手により退寮処分が恣意的にあきてきているのである。

④在寮者「確認」攻撃を打ち碎き我々は斗う

— 以上のような不正当性をもつ在寮者「確認」を我々は断固拒否する。寮生分断を意图するこの攻撃に屈せず、その不正当性を全学に明らかにすることと、我々は結束を固め、寮斗争を斗いぬく! おまけ

## 吉田寮自治会